



発行:日本労働組合総連合会鳥取県連合会
発行人:山崎 睦 編集人:江口 真也
住所:〒680-0847 鳥取市天神町30-5
TEL(0857)26-6605 FAX(0857)26-6615
E-mail:tottori@tottori.jtuc-rengo.jp
ホームページ:https://jtuc-tottori.jp

大切な命を守るために 現地に出向いて学ぶ —「2023年度防災学習会」を開催—

野島断層保存館



野島断層保存館について



語り部
廣岡卓樹さん

あいさつする
山口一樹国民運動局長 (正面右)



野島断層を見学

人と防災未来センター



語り部 安井俊彦さん



語り部・安井さんの話を熱心に聞く参加者



免振・耐震シアター



メモリアルハウス
地震直後の台所の様子(再現)

連合鳥取は、9月1日(金)〜2日(土)、連合鳥取役職員15人(内女性4人:女性参画率26.7%)が兵庫県に出向き、震災から得た教訓と防災について学習する「防災に関する現地学習会」を開催しました。

両日とも語り部さん(廣岡卓樹さん・野島断層保存館、安井俊彦さん・人と防災未来センター)の講話で共通していたのは、「人と人の関係をどうやって作っていくか、人は人として皆助け合ひながら生きていかなければならない。日ごろの仲間づくり、近所づきあいの大切さ、お互いが助け合える関係を作る事も自分の備えとなる」ということでした。

「防災の日」は、1923年9月1日の関東大震災に由来し、今年で100年の節目となります。災害はいつ起こるかわかりません。防災の日を契機に地域や職場、ご家族で避難場所や安否・連絡方法の確認、食料や日用品の備蓄など、いざという時のために準備しておく必要があります。大切な命を守るために、今一度確認してみましょう。

1日目(淡路市)

北淡町震災記念公園

野島断層保存館視察

国指定天然記念物野島断層をそのまま屋内保存したゾーンや、地震断層が横切る民家を保存したメモリアルハウスを見学しました。

2日目(神戸市)

阪神・淡路大震災記念

人と防災未来センター視察

震災直後のまちが再現されている震災追体験フロアや震災の記憶フロア、実験やゲームを通じて学ぶことのできる防災・減災体験フロアで様々な体験ができました。最後に見た「こころのシアター」では、考えさせられることばかりでした。



参加者の声

石原 さやか執行委員
(女性代表・日教組)

災害が発生した時、私たちは被災者にもなり、職業人であれば救助・情報収集・ライフライン確保・復旧等々その職責に応じた仕事に向かう。または地域コミュニティの一員となりそれぞれが生活する地域で活動をしていくなど、その時々で立場が変わり、状況に応じた対応を求められ、率先して動いていくのだということに改めて気づかされた。

災害や防災、自身のこれからの立ち居振る舞いについてしっかりと考えていきたいと思った。



盛山 修執行委員
(中部地域協議会議長・JAM)

語り部は、阪神・淡路大震災の教訓として、①近隣住民とのコミュニケーションの大切さ、②防災意識の重要さ、③災害に強い街づくり、④住民への情報伝達方法、⑤災害後の心のケアの大切さを多くの人に伝えて考えてほしい。最後は、人との絆であり愛情が大切だと強く訴えられた。

壮絶な話を聞き、震災の恐怖、地域との繋がりの大切さを感じ、防災について見直さなければと思った。避難経路から生活において災害のリスクをどう軽減するのかを考える必要があると学んだ。



◆鳥取県最低賃金は10月5日から900円(時給)に上がります◆

連合鳥取2024年度政策・制度要求鳥取県担当部局と対面で「部局交渉」を実施

7月31日(月)、山崎陸会長代行から平井伸治鳥取県知事に手交した「連合鳥取2024年度政策・制度要求【40項目】」のそれぞれの項目について、9月6日(水)、7日(木)、19日(火)の3日間、鳥取県担当部局と意見交換を実施しました。

コロナ禍には対面での開催が叶わず、2年にわたり書面のやりとりで実施してきた意見交換ですが、本年は対面でじっくりと時間をかけて担当役員から要請内容を説明し、理解を求めることができました。

今後、10月上旬までに鳥取県から書面による回答が届く予定となっています。

〈鳥取県担当部局との部局交渉〉

〈部局交渉の様子〉

対応部局	要求項目
政策戦略本部	▶不安定雇用者への対応
輝く鳥取創造本部	▶働く者のための働き方改革に向けた体制強化 ▶キャッシュレス決済の拡大・導入 ▶燃油価格高騰に対する助成措置の拡充 ▶社会政策の視点に立った交通政策に対する公的支援の増強 ▶県内外の旅行の活性化および外国人観光客の受け入れ拡大に向けた施策 ▶安心して利用できるバス停留所の安全性対策 ▶地域公共交通の利用促進策 ▶バスドライバー不足への対応 ▶くらしと生活支援
総務部	▶公契約条例及び公共サービス基本条例の制定
危機管理部	▶総合的な防災・減災対策の充実
地域社会振興部	▶あらゆるハラスメントの根絶とジェンダー平等で多様性を認め合う社会の実現 ▶人権尊重の社会づくり ▶各種選挙における投票率向上に向けた取り組み ▶参議院選挙における合区解消に向けて ▶教育の機会均等の保障、教育環境施策の拡充
福祉保健部	▶不安定雇用者への対応 ▶働く者のための働き方改革に向けた体制強化 ▶障がい者雇用 ▶生活困窮者自立支援体制確立 ▶子どもの貧困対策 ▶介護業界におけるケアマネジャー(主任含む)の法定研修費用の支援 ▶看護職員の離職防止・定着促進 ▶地域医療構想 ▶認知症等に起因する事故等の個人賠償責任保険の支援制度の創設 ▶障がい者等用スペース(ハートフル駐車場)の利用
子ども家庭部	▶不安定雇用者への対応 ▶働く者のための働き方改革に向けた体制強化 ▶子どもの貧困対策 ▶私立高等学校の振興と教育環境の整備、生徒・保護者の負担軽減等のための施策
生活環境部	▶子どもの貧困対策 ▶悪質クレーム(迷惑行為)等の対策の継続 ▶万引き防止策の推進
商工労働部	▶雇用維持対策 ▶失業なき労働移動の実現 ▶不安定雇用者への対応 ▶雇用の安定と公正な労働条件の確保 ▶働く者のための働き方改革に向けた体制強化 ▶すべての労働者に対する職業能力開発機会の充実 ▶障がい者雇用 ▶外国人労働者が安心して働くことのできる環境整備 ▶地域別最低賃金 ▶あらゆるハラスメントの根絶とジェンダー平等で多様性を認め合う社会の実現 ▶生活困窮者自立支援体制確立 ▶燃油価格高騰に対する助成措置の拡充 ▶バリューチェーンにおける付加価値の適正循環に向けた適正取引の推進 ▶特別高圧受電者に対する支援 ▶悪質クレーム(迷惑行為)等の対策の継続
農林水産部	▶食農教育を通じた県農畜産物や食文化の理解促進に向けた取り組みの強化 ▶食料安全保障に関する取り組みの強化 ▶生産資材価格高騰に対する対応 ▶戸別所得制度など、直接支払い制度設置の要請
県土整備部	▶働く者のための働き方改革に向けた体制強化
会計管理部	▶公契約条例及び公共サービス基本条例の制定
教育委員会	▶不安定雇用者への対応 ▶働く者のための働き方改革に向けた体制強化 ▶各種選挙における投票率向上に向けた取り組み ▶教育の機会均等の保障、教育環境施策の拡充 ▶私立高等学校の振興と教育環境の整備、生徒・保護者の負担軽減等のための施策
警察本部	▶万引き防止策の推進



青年委員会発

バウムクーヘンづくりにチャレンジ - 「産別交流会」開催 -

青年委員会は、9月16日(土)、大山「森の国」(大山町)にて「産別交流会」を開催し、26人がバウムクーヘンづくりにチャレンジしました。

バウムクーヘンの名前の意味をご存じでしょうか？

バウムクーヘンとは元々ドイツ語で、そこから日本でも親しまれる名前になりました。バウム(木や樹木)クーヘン(ケーキや焼き菓子)であり、「木のケーキ」と訳せます。

作業は4人ずつのグループで行い、まず火おこしをする人と生地作りをする人に分られました。着火剤を使わず一からの火おこしでしたが、自分のグループは相方がBBQ等をやっている火おこしが得意だったのでスムーズに進みました。



「森の国」の指導者から説明を受ける参加者



協力しながら焼いていこう!



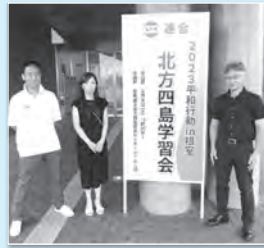
上手く焼けた! 記念にパチリ!!

バウムクーヘンを作るには、生地を塗って焼いてを繰り返します。生地が固まるまで定期的に動かし続けなければならないため、目を離した際に生地が垂れ落ちていくのでこぼさないようにするのが大変でしたが、そのやり取りもあり、参加者同士の交流をより深めることができました。

(寄稿 青年委員会幹事 遠藤英和さん)

■ 平和特集 (フォトニュース) ■

平和行動in根室 [9/9/北方四島学習会<北方四島交流センター>・9/10/2023平和ノサップ集会<望郷の岬公園>]



連合平和行動北方領土学習会

2023平和ノサップ集会前に中国ブロック5県の連合で「竹島の領土権確立・北方領土返還!!」チラシを配布

連合北海道から連合沖縄へのピースフラッグリレー

第30回連合鳥取杯親睦ゴルフ大会開催

9月9日(土)、「第30回連合鳥取杯親睦ゴルフ大会」を旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部(鳥取市)にて12組・43人参加のもと、開催しました。

時折、雨が強さを増す場面もありましたが、参加のみなさんの親睦を深める良い機会となりました。

- 優勝 磯江昌弘さん(中国労働金庫) GROSS: 94 HDCP: 25.2 NET: 68.8
- 準優勝 山川龍矢さん(JR連合) GROSS: 95 HDCP: 24.0 NET: 71.0
- 第3位 澤田孝志さん(日教組) GROSS: 74 HDCP: 2.4 NET: 71.6



優勝/磯江昌弘さん(左)

※今回も社会貢献活動の一環としてチャリティーを行いました。(チャリティー金 27,000円) 用途については別途執行委員会で報告します。

東部地協発

「第35回鳥取さわやか車いす&湖山池マラソン大会」に協力



9月11日(日)、ヤマタスポーツパーク陸上競技場と湖山池ハーフマラソンコースにて「第35回鳥取さわやか車いす&湖山池マラソン大会」が開催されました。東部地域協議会は、2011年から社会貢献活動の一環として参画しており、今回も駐車場での障がい者介助と誘導の業務を担いました。

【大会概要】

1989年に車いすのみのマラソンに特化して始まった本大会も、回数を追うごとにランニングやウォーキングも実施し、また障がいの有無を問わず参加者を募る形態となり、今回で35回を迎えました。

当日は快晴の下、鳥取県内外から700人の参加者が集いました。今回は6種目を実施しましたが、参加者は各々のペースで完走・完歩をめざし、爽やかな汗をかきながら競技に臨まれました。



西部地協発

青女フォーラム「第1回産別交流会を開催」

西部地協青女フォーラムは9月23日(土)、弓ヶ浜公園BBQパークにて参加者22人(うち女性5人)が参加し、第1回産別交流会を開催しました。

幹事会では初めて会う参加者が仲良くなるためにアイスブレイクを考えたり、当日の進行や食材の買い出しの役割分担をするなど、企画段階から盛り上がっていました。

当日は天気にも恵まれ涼しい風が吹く中で、参加者は交流を深めることができました。参加者からも「他産別の方と知り合える機会になった」「また楽しみながら交流できる企画をしてほしい」という感想をいただき、次回開催への弾みとなりました。



2023年度 連合鳥取・立憲民主党 鳥取県総支部連合会「意見交換会」に22人参加

9月18日(月)、連合鳥取は立憲民主党鳥取県総支部連合会(以下立民鳥取)との意見交換会をホテルモナーク鳥取にて開催しました。連合鳥取は山崎睦会長代行他役員10人と3地域協議会議長3人、立民鳥取からは湯原俊二代表をはじめ8人の推薦議員が参加しました。



あいさつする山崎会長代行

山崎会長代行と湯原代表それぞれのあいさつの後、立民鳥取と立民本部が8月29日(火)に国の省庁関係に対し要請した「台風7号で被害を受けた予算措置」の内容についての報告と、鳥取県に対し鳥取県議会・会派民主が提出した18項目の要望のうち10項目についての説明を受けました。

続いて、坂野経三郎立民鳥取幹事長の司会進行により、①令和5年8月台風第7号による災害復旧に係る要望、②現在の政治情勢、③9月議会に向けた会派知事要請、④その他、の4項目について双方活発な意見交換を行いました。

連合鳥取と立民鳥取は、今後、意見交換会を県議会開会前に年4回開催し、労働者、生活者に係る政策について前進を図っていくことを確認しました。



意見交換会の様子

Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

連合鳥取「第31回定期大会」

□日 時
2023年11月16日(木)13時開会

□場 所
倉吉未来中心・小ホール

□議 事

▶報告事項

- ①2023年度一般活動報告
- ②2023年度会計決算報告
- ③2023年度会計監査報告
- ④2023年度剰余金処分(案)

▶議 案

- ①第1号議案
2024年度運動方針(案)について
- ②第2号議案
2024年度予算(案)について
- ③第3号議案 役員選挙
- ④第4号議案 その他

※産別を通じて案内しています

“ザ・議員”

坂根 政代 鳥取市議会議員

昨年11月の鳥取市議会議員選挙で初当選して以降、①DV相談の窓口の明確化、②小・中学校及び義務教育学校の特別教室(理科室や音楽室など)の空調設備の設置(5か年計画で実施)、③放課後児童クラブの利用料の減免措置等について、前向きな回答を得たところ。

しかし、6月議会で「保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書の提出を求める請願」(自治労鳥取県本部等の提出)について賛成討論を行いました。事前の福祉保健委員会では採択されていたのに、本会議で不採択となり悔しい思いでした。

この悔しい思いを忘れず、今後も、みなさんと一緒に頑張っていこうと思います。



6月議会で質問(2023.6.26)

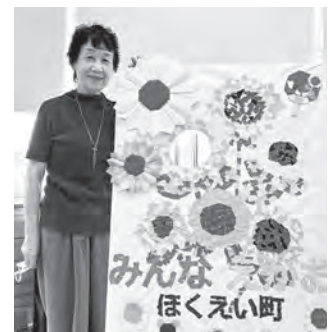
蓑原 美百合 北栄町議会議員

9月定例会で地域防災と認知症対策について一般質問を行いました。

自然災害が多くなっています。いつ、どこで起こるか分からない災害に対して、住民のみなさんの命を守るために対策(自主防災組織、防災士、避難行動要支援者の把握、避難所運営等)が必要です。

また認知症対策についても、誰もが老いていきますから、認知症になっても自分らしく安心して暮らしやすい地域であるために、理解と予防、早期発見、治療が必要だからです。

今後も、暮らしやすい地域づくりのために努力していきますので、よろしく願いいたします。



みんなほくえい町

「がんばる」ってどういうことだろうか? 「今日は仕事で忙しくってむっちゃがんばりましたよ!」と青年が話してくれた。なんでも昼休み返上で仕事をこなしたそう。それは大変だったな、今日は早く帰ってビールだな」と返すと青年は笑顔で「そうします!」と帰っていった。▼「がんばる」の尺度は人それぞれだが、普通に1日8時間働くだけでも「がんばっている」と私は思う。「青年よ。君は昼休み返上でがんばったのではなく、ただ働きただけだ」と心の中では呟いたが、もちろん口に出せるはずもない。▼人間は自分の価値観を他人にも押しつけがちである。自分「がんばる」の基準が高ければ、他人の「がんばり」を認められないかもしれない。逆に「がんばる」の基準が低ければ、職場で独りぼっちになるかもしれない。▼大事なのは働く仲間同士が共通の認識を持つことだ。と思う。それは隣で働いている人が何を思い、どうしたいかを知ることでもある。「労働組合の活動をつうじて団結を!」と言いたいところだが、まずは職場での無駄話からはじめませんか? (はっぴー)

たんぽぽのらび



再生紙を使用しています